

2022年9月16日

和歌山県議会議長
尾崎 要二 様

日本共産党和歌山県議団
団 長 奥村 規子
幹事長 高田 由一
楠本 文郎
杉山 俊雄

旧統一協会(世界平和統一家庭連合)関連団体についての申し入れ



安倍元首相の銃撃事件をきっかけに、旧統一協会(世界平和統一家庭連合)の関連団体が開催するイベントなどに、国会議員や地方議員が参加したり、地方自治体が後援名義を与えることが問題となっています。

旧統一協会は単なる宗教団体ではなく、靈感商法や高額献金強要を繰り返してきた反社会的集団であり、全国靈感商法対策弁護士連絡会のまとめによれば、昨年末までの35年間で旧統一協会に関する相談は34,537件、被害総額は約1237億円にのぼります。

したがって、その関連団体の活動に地方議員が参加、関与することは、同会の活動へのお墨付きを与え被害を拡大することにつながるとともに、有権者の信用を失うことにもなります。

和歌山県内でも、同団体が主催する「ピースロード」が実施され、自治体や議員が関与していたという情報もあります。そこで以下の点について申し入れます。

1. 各会派、無所属議員が責任をもって旧統一協会と関連団体との関係について自己調査をし、調査結果を公表すること。

以上